

事業実績シート

1 事業の概要

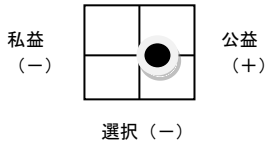
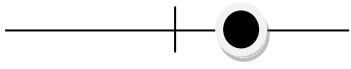
協会事業名	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	「MONO JAPAN-Japanese Craft & Design-」参加			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	東彼杵町	まちづくり課	高月 淳一郎	0957-46-1111
事業期間	開始年	平成28年2月1日 (1年目)		
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[]			
実施期間	(開始日) 平成28年2月1日 (完了日) 平成28年2月11日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	(委託内容)			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)	
	市民		海外進出のツールとして東彼杵町の特産品「そのぎ茶」を活用し、長崎県・東彼杵町のPRを行いオランダとの国際交流の足掛かりとする。	
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	2016.2.4～7、オランダ・アムステルダムで開催される「MONO JAPAN - Japanese Craft & Design-」において、東彼杵町の茶生産農家が、特産品である「そのぎ茶」の試飲会、ワークショップを行い、お茶を機能性食品として新たな市場開拓を模索すると共に、グリーンツーリズムの普及を促進し、お茶の生産者と東彼杵町が一体となって長崎県や本町の観光をPRし、オランダとの国際交流の足掛かりとする。			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景)			
	東彼杵町は豊かな自然と美味しい農産物があるが、観光部門に活かされず素通りの町となっている。そこで町では、交流人口の拡大と町をPRするためツーリズムの普及を目指している。			
(経緯・現状)				
東彼杵町では、茶畑など素晴らしい景観が広がる地域を有しながら、これまでその特性を活かすことが出来ず素通りの町となっている。そこで、ツーリズムの普及により交流人口を拡大するため、一昨年より、欧州の人達を対象にツーリズムのモニターツアーを開催している。また、昨年10月シンガポールで農林水産省等が開催した「Oishii JAPAN 2015」にも参加し、国際交流を強く推進している。 そういった中で、今回オランダ・アムステルダムにおいて“にほんのもの”オンリーの展示即売会「MONO JAPAN - Japanese Craft & Design-」に、特産品“そのぎ茶”を国際交流のツールとして参加した。				

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）				915,320 円				
（財源内訳）	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	市町振興共同事業助成金			629,000 円				
	一般財源			286,320 円				
成果（活動） 指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	お茶の淹れ方ワークショップへの外国人客の参加人数	淹れ方によって旨みが変わるお茶の淹れ方を、多くの外国の方に体験して頂くことで、日本の文化及びそのぎ茶を通じた市民交流を行う。	人	目標	—	—	30
					実績	—	—	30
				目標達成率（％）	—	—	100%	
	②				目標			
					実績			
目標達成率（％）								

3 事業の振り返り

必要性の点検	（1）公共性評価		必需（+） 
	（公益性） <input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	（必需性） <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	（2）行政関与の妥当性評価		（3）廃止又は休止した場合の影響
	妥当性低い 妥当性高い （-） 0 （+） 		（影響内容、程度等） 国際交流をするためには、切っ掛けづくりが最も大切であると考えており、日本茶大賞を受賞した産地でもあることから、“そのぎ茶”をツールとして使える国際的なイベントへの参加は、国際交流促進に最も効果的であり、廃止又は休止した場合には、手段・方法が極めて限られ、その影響は小さくない。

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		日本の“ものづくり”の一員として国際的なイベントの中で、そのぎ茶を使った町のPRが出来たこと、更に現地の方との交友により、国際交流の足掛かりができた。		
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地				
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある		(工夫の内容・工夫の余地がない理由)		
	実施予定 期 日	H28 年度			
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)			
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない					
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)		
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		町のPR活動、国際交流の切っ掛けづくりが主なため当面は行政の関与が必要となる		
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保				
<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		町のPR活動、国際交流の切っ掛けづくりが主なため、参加者の旅費等を考えると、現時点では受益者負担を強いることは困難である。			

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	■ 現状維持
	実施(予定)時期				
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		■ 現状維持
	実施予定時期				
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	■ 現状維持
	実施予定時期				
具体的内容					